



学校だより

大塚

特別号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/otuka-s/>

平成29年3月22日

京都市立大塚小学校 NO.14

TEL 592-6141

### 自らの個性を生かし、主体的・意欲的に活動する子の育成

～次々と一段高い目標に向かって、みんなで挑戦し続ける学習集団づくりを基盤に～

【将来、社会で堂々と活躍できる子どもを育てる】



日増しに暖くなり、早春の息吹を感じるこの頃です。新しい学年に向けての準備等、何かと気忙しい毎日をごさされていることと思います。皆様には、日頃より本校教育にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

さて、本校では、例年7月と2月に保護者・地域の方々から学校評価を頂き、その結果を真摯に受け止め、教育実践の改善・推進に努めております。今年度も、子ども達・保護者・教職員のそれぞれの立場で振り返るための項目を設定し、アンケートを実施しました。お忙しい中、今年度2回目のアンケートにご協力頂き、誠にありがとうございました。アンケートの結果及び考察について公表し、学校・保護者・地域が一体となって現状を確認し、それぞれの立場で課題を明らかにして、今後の教育活動の実践に生かしていくことが大切であると考えております。共に子ども達の健やかな成長につないでいきたいと思ひます。

なお、数値について、小数第1位を四捨五入するため、一昨年度まで0.4%までが0%の表示になっていました。少数ではありますが、お答えいただいていることを明確にするため、今年度も0.4%までの数値をそのまま表示することにしました。そのため、合計が100%前後の数値がありますが、合計100%に近い数字になるようにしていますので、お知りおきください。今回は、今年度の7月の結果と比較させていただいています。

### ＜学校評価アンケートの集計結果について＞

前回の7月と同様に「学校生活は、楽しいか」「勉強はわかりやすいか」「先生に大切にしてもらっているか」の項目では、A(そう思う)、B(大体そう思う)を合わせ前回同様90%前後の子ども達や保護者の方からよい評価を得ていることは大変嬉しい結果です。7月のアンケートでは「勉強はわかりやすいか」の項目の低学年のC(あまりそう思わない)、D(そう思わない)を合わせて10%近くありましたが、今回も同様でした。ただし、高学年では減っています。来年度も教職員一同わかりやすい授業へ向けて、力いっぱい取り組んでいきたいと思ひます。

「友達を大切にしているか」の質問にも、前回と同様90%以上の方からよい評価を得ています。子ども達の人間関係づくりは、日々様々な出来事がある中でも比較的うまく進んでいるようです。一年を通して、ご家庭でのご支援、ご協力、励ましの声かけを継続し、支えていただいたことも大きな力となっております。教職員も引き続き子ども達をサポートし、指導しながら、一人一人を大切に目守つていきたいと考えています。今後どうぞよろしくお願いしします。

「先生に相談できるか」の項目は、C・Dを合わせた割合が他と比べると変わらず少し多ひです。一方で少しではありますが、A・Bの割合も増えまひました。教育活動の原点ともなる信頼関係を築いていくために、今後子ども達の心に寄り添う接し方を心掛けていきます。

「毎日必ず宿題をするか」の項目は90%以上の子ができていますと答えています。この一年間継続してご家庭でもしっかりと声かけなどをしてくださった結果であり、家庭学習の定着が進み、習慣化してきているのだと思ひます。とても、嬉しい傾向です。しかし、「家庭での読書」を「している」と答えている子は前回と比べると、低学年で67%から55%にと7月や昨年度よりもさらに下がってしまいました。家庭学習は定着しつつありますが、読書への取組や声かけの仕方など、新たな課題が見えてきました。この春の進級の機をとらえ、改めて家庭での読書に力を入れていただきたいと思ひます。また、学校でも読書に親しめる環境づくりを考えていきます。

「元氣よく挨拶をしているか」の項目では、前回より大きく下がらなかったものの、A(そう思う)、B(大体そう思う)が増えませんでした。あいさつをするようにはたらきかけていると答えている保護者は90%近くあり、保護者の方は変わらず声をかけていただいていることが分かります。まずは大人が姿を示せるように行動していきたいものです。

地域行事への参加についての意識は、低学年で83%から76%に、高学年では70%から61%に減っています。学校で育てるもの、家庭や地域のなかで育てるもの、それぞれがその役割をしっかりと自覚し、連携し合つて子ども達の健やかな成長を支えることが重要であると考えています。

9月の学校運営協議会で話題になっていた読書活動の推進については、学校での読書活動だけでなく、家庭での読書に繋がる取り組みを進めていくことも今後取り組んでいくべき大切な課題となりました。

これからも学校は保護者の皆様・地域の皆様と共に協働して教育活動を推進していきたいと考えています。どうぞ支援・ご協力をよろしくお願いしします。